

第2期逗子市自殺対策計画成果指標（案）

（1）自殺対策全体の成果指標

現行計画	2012年～2016年 自殺死亡率（平均） 14.6（人口10万対） ↓ 2017年～2021年 自殺死亡率（平均） 12.4以下（人口10万対）
第2期計画（案）	2017年～2021年 自殺死亡率（平均） 13.7（人口10万対） ↓ 2022年～2026年 自殺死亡率（平均） 10.2以下（人口10万対） ※県の目標：平成28年(2016年)数値から令和8年(2026年)数値までの10年間で、自殺死亡率（人口動態統計）を30%以上減少 →当市ではこれまで5年間の平均値を評価指標としていたため、県の目標値を参考に、直近の平均値の数値(13.7)より30%減少した数値を目標値として設定した。

（2）計画期間における施策の成果指標

	2023年度目標値	2022年度末現在	現行計画の成果指標	2028年度目標値
1. 生きることを支える人材の育成				
ゲートキーパー研修の参加者数	延べ1080人	延べ870人	○	
ゲートキーパー研修受講者の内、自殺対策の理解が深まった人の割合	80.0%	93.3%(平均)	○	
2. 市民への啓発・周知				
広く市民に自殺対策について普及啓発を行うための講演会、研修会の実施	年間2回以上	年間1回	○	
広報・ホームページ等での普及啓発の実施			—	
3. 地域・庁内組織間における				
担当者会議の開催			—	
4. 生きることの促進要因への支援				
庁内担当部署による実施状況の報告の実施			—	